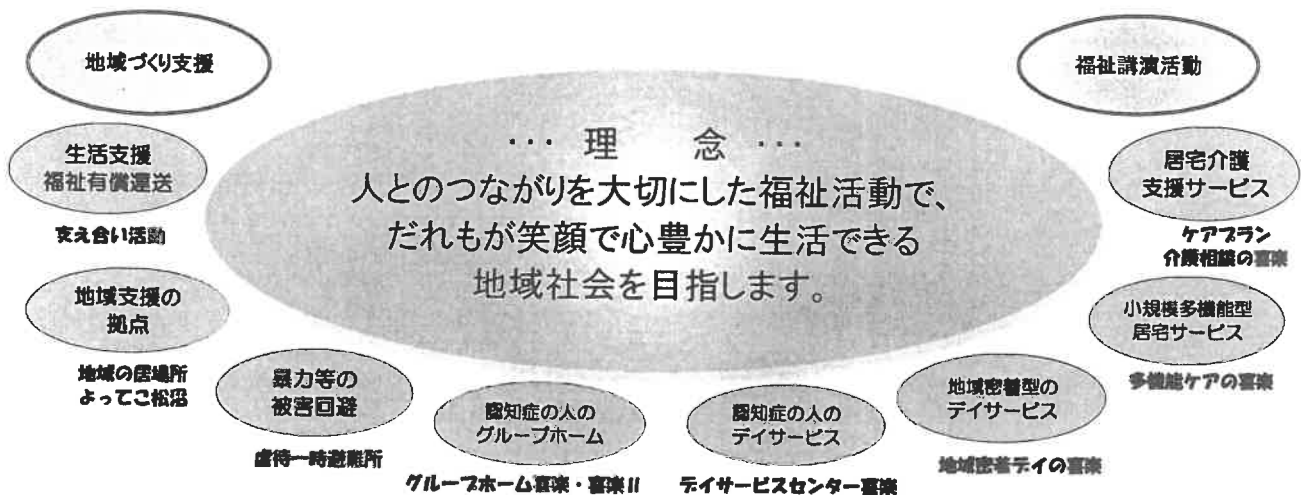


第1号議案

令和6年度 事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

NPO法人お互いさまネットワーク



法人指針

1. 地域の人から頼られる介護福祉活動を提供するために成長する。
2. 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
3. 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

〒374-0057 群馬県館林市北成島町1829-5

代表電話 0276-70-1326 代表FAX 0276-70-1327

ホームページ <http://otagaisamaegao.net/>

令和6年度 活動の概要

1. 令和6年度は下記の法人目標に基づき活動を進めてきました。

- ①各事業所の適正な人員配置を行いサービス向上に繋げる
令和7年2月に事業所間の大規模な異動を行いました。対象はグループホーム、認知症デイ、地域密着デイです。また今回から兼務を可能とし、グループホーム間、デイサービス間でそれぞれ職員を一部共有しています。異動に伴い、グループホーム管理者は佐山竜一が務め、地域密着デイ管理者は小川加津子がデイサービスとの兼務で務めます。
- ②賃金改善後の安定的収入を確保し健全運営を図る
当期損益は約843万円の赤字となりました。利用者数の減少により当目標は達成出来ませんでした。次期目標に継続して取り組みます。
- ③運営規程等に定める職員研修を計画的に実施
各事業所、毎月の職員会議にてインターネット配信型の動画教材を用いた研修を行っています。昨年度中に全事業所での研修を完了しており、以後継続していきます。

また、訪問介護の喜楽は人員不足により事業継続が困難と判断されたため、令和6年6月30日を以って休止致しました。今後再開に向けて検討を進めて参ります。

2. 「法人戦略5年後ビジョン（2022年度～2026年度）」

- ①年1回の講演会の実施
令和6年12月1日、館林文化会館小ホールにて認知症についての理解を深める講演会を開催しました。若年認知症ぐんま家族会会長の沢幸一氏を迎え、ご自身の介護体験を踏まえた講演と、介護家族・職員らによるパネルディスカッションを行いました。参加者63名。
- ②5年間で取り組んでいない活動を2つ以上展開する。
前年度から計画を一部修正し、住宅型有料老人ホーム39名（新設）、広域型デイサービス35名（泉房改築）の設置を予定しています。現在旧泉房を改築中であり、開設は令和8年（2026年）9月を予定しています。
- ③5年後の令和9年（2027年）3月には職員数100名を超えている。
令和7年3月現在職員59名です。有料、広域デイ開設で100名を超えると予想されます。

1 事業実施の成果

部 署	目 標		成 果			摘 要
会 員	正会員 25名 協力会員 25名 利用会員 160名		正会員 23名 協力会員 20名 利用会員 149名			正会員の高齢による退会が継続している
職 員	令和7年3月31日現在		正職員	パート	計	備 考
	管理事務		2	1	3	ボランティアスタッフ5名 ユニット間兼務5名 地域密着デイ兼務2名 デイサービス兼務2名 R6.6.30 休止
	支え合い活動		1	0	1	
	よってこ松沼		0	0	0	
	グループホーム喜楽・喜楽Ⅱ		9	12	21	
	デイサービスセンター喜楽		3	5	8	
	地域密着デイの喜楽		4	4	8	
	多機能ケアの喜楽		6	9	15	
	ケアプラン介護相談の喜楽		1	2	3	
	訪問介護の喜楽		0	0	0	
計		26	33	59		
法人役員	理事長 恩田 初男 副理事長 陶山 典子 監事 赤坂 一郎	理事 原島 秀克 理事 佐藤 富代 理事 曾根 勝 (北成島区長職)	理事 飯塚 裕 理事 小川 加津子			
部 署	目 標		成 果			摘 要
法人全体	①各事業所の適正な人員配置を行いサービス向上に繋げる		R7.2 GH・認知症デイ・地域密着デイにて職員異動			GH 管理者変更、地域密着デイ 管理者兼務。職員兼務可能に
	②賃金改善後の安定的収入を確保し健全経営を図る		損益 843 万円の赤字			利用者減少により目標達成不可
	③運営規程等に定める職員研修を計画的に実施		職員会議にて動画配信型の研修を実施			来期以降も継続する
支え合い活動	理念「会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す。」					
	① 協力会員 25 名 利用会員 160 名 チケット販売目標 900 円券 2,500 枚 450 円券 1,600 枚 500 円券 4,500 枚 100 円券 4,800 枚	① 協力会員 20 名 利用会員 149 名 チケット販売実績 900 円券 2,248 枚⇒ 90% 450 円券 2,218 枚⇒138% 500 円券 5,149 枚⇒114% 100 円券 6,156 枚⇒128%	〈実績の要因〉 透析送迎が 2 名減少したこと に対し活動回数が前年比 25% (2779 回→3470 回) 増加 したことが要因			
	② 運転適性検査の受講 (+安全運転に関する講習会)	適性検査…協力会員 7 名参加			講習会は開催していない	
	③ 利用料・謝礼金値上げの検討	R6.8 アンケート実施 R7.9 より料金改定			R7.6 運営協議会に諮り正式に決定	

地域の居場所 よってこ松沼	理念「人と人とのつながりを作り笑顔になれるところです。」		
	① 地域の人々との情報交換に努める	松沼町主催の市職員による歴史勉強会…2名参加	松沼町役員と市議の交流として役立った
	② 歌声喫茶の定例化	よってこ松沼…月2回定例 松沼町集会所で三味線と歌の会 …1回開催	歌声喫茶の定例化ができた 三味線の会では人は集まったが よってこ松沼の来客には繋がっていない
グループホーム 喜楽	理念「地域社会の中で人とのつながりを大切に、その人らしく、あなたと共に暮らします。」		
	① 職員の新しい発見・気づきを見つけるように毎月交換研修を行う	人員体制が整わず、毎月は出来なかった。10月より喜楽Ⅱ⇒喜楽への研修を行った	今後は兼務の体制として発見や気づきを伝え合っていきたい
	② 日々の目標をみんなに伝え実行する	目標を伝え合うことでモチベーションの向上は出来たが年間を通しての継続は出来なかった	目標をメモに書くようにしたことと確認できたのは良かった
	③ 共に笑顔で過ごせるようユニットのお茶や活動にお年寄りが参加する	少人数ずつレクリエーションやお茶に参加し楽しんで頂いた	今後もお年寄りが生活に楽しみを持てるよう工夫していきたい
デイサービス センター喜楽	理念「デイ喜楽は、楽しみをもってゆっくり過ごす、あなたのもう一つの家です。」		
	① 人材育成を進める	職員が少ない中でも新入職員の教育を行うことができた	引き続き、効率よく行っていきたい
	② 安定した利用者の確保を継続する	利用定員一日12人のところ、平均10.1人であった	目標は定員満員なので引き続き努力する
	③ 利用者に起こりうるリスクを考えながら支援をする	職員各自が考え行動できた	今後も継続していきたい
地域密着デイ の喜楽	理念「私たちは本人と家族が安心して自宅生活を続けられるよう支援します。」		
	① 事業所の安定経営の継続（契約者数35名を目指す）	平均契約者数27名 目標達成できなかった	今後も継続していきたい
	② サービスの向上（適切な業務改善を行いサービス向上を図る）	利用者の声を聴きサービス向上に繋がられた	業務をシンプルにし利用者に関われる時間を増やしたい
	③ 報告・連絡・相談の徹底（情報共有をし、ケアの統一化を図る）	情報の共有をすることができた	情報を一つの場所にまとめ、重複しないようにしたい

多機能ケアの 喜楽	理念「一人ひとりが主人公。私たちはあなたらしい生活を地域社会の中でご家族と共に柔軟に支えます。」		
	① チーム全体の質を上げ、職員同士の連携プレイでチームケア向上につなげる	職員アンケートでは「あまり出来なかった」「ほぼ出来た」の2つに回答が分かれ、どちらとも言えない結果となった	職員不足ながら協力し合い休みの多い日も不満も言わずよくやっていた。お互いの性格や動きを把握し連携プレイが出来た。なんとなくではなく根拠を持って対応できるようになった
	② 職員・利用者共に、心身の健康を維持する	職員アンケートでは「まあまあ出来た」「ほぼ出来た」という回答が多くを占めた	クラスターが発生することなく過ごせた。利用者は元気だが職員が疲れぎみ
	③ 新規利用者の獲得 (平均 24 名)	入院、他施設への入所などが続き利用者が減ってしまい達成できなかった	職員を増やし様々なニーズに役立てて支援していける環境を整え新規利用者の獲得を目指す
ケアプラン介護相談の喜楽	理念「介護に係る相談を提供することで地域に貢献する。」		
	① 介護支援専門員を増やす	募集者不足により人員数変わらず	業界全体が直面している人材不足や業務の負担増を反映しており今後の課題である
	② 法人事業所の利用者を増やし、安定経営の継続を図る	ケアマネの人材不足により利用者の受け入れを一部断らなければならなかった	採用活動と業務プロセスの見直しを行い業務の効率化を図る
	③ 定期的に研修を行う	計画に沿って研修を実施した	他の事業所と連携を取り研修を継続する
訪問介護の 喜楽	理念「私たちは「笑顔」「安心」「生きる気力」を届けます。」		
	① 職員・利用者を増やす	R6.6.30 を以って休止目標達成不可	職員不足により事業継続困難、休止となった。今後再開に向けて検討する
	② 研修を充実させ、サービスの向上に繋げる	同上	同上

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の範囲及び人数
支え合い活動	日常生活で誰かの手助けが欲しい時、会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す活動	活動日数 308日 延べ活動 回数 3,470回	利用者の 自宅他	延活動者数 3,516人	何らかの理由で日常生活に 困っている人 延べ利用者数 3,810人
地域の居場所 よってこ松沼	地域の人々がだれでも気軽に来られ、親しく笑顔になれる交流の場として居場所を提供	営業日数 計86日 10時～ 16時 で営業	松沼町 よってこ 松沼	スタッフ 延べ 196人	延べ来所者 1,111人 営業日数合計 86日 1日平均 12.9人
グループホーム 喜楽	介護保険において認知症の人へ共同生活住居において、介護や生活支援サービスを提供し、地域との繋がりを大切にして喜びと安らぎを持って生活してもらう事業	365日 24時間	グループ ホーム 喜楽 喜楽Ⅱ	管理者1名 看護師1名 正職員8名 パート職員 11名 計21名	認知症のため自宅での生活 が困難な人 喜楽 8名 喜楽Ⅱ 9名 共用デイ 0名 計 17名
デイサービス センター喜楽	介護保険において認知症の人の自宅での生活を支えるため通いの介護サービスを行う事業	309日 日曜日 及び 12/30～ 1/2休業	デイサー ビスセン ター喜楽	管理者1名 (兼務) 看護師1名 相談員1名 正職員1名 パート職員 4名 計8名	館林在住で認知症のある方 契約者 23名 延べ利用者数 3,130名 1日平均 10.1名
地域密着デイ の喜楽	介護保険において自宅での生活を支えるため通いの介護サービスを行う事業	309日 日曜日 及び 12/30～ 1/2休業	地域密着 デイの 喜楽	管理者1名 (兼務) 看護師2名 相談員1名 正職員2名 パート職員 3名 計9名	館林在住で介護認定を受け た方 契約人数 27名 延べ利用者数 3,396名 1日平均 10.9名

多機能ケアの 喜楽	利用者個別の利用の仕方に対応し、通所・訪問・ショートステイを組み合わせた支援を行う事業 地域連携として民生委員、医療機関、利用者がよく行くお店や食堂、地域の住民と連絡を取り合っている	365日 オープン以来休業無し	多機能ケアの喜楽、利用者宅を訪問	管理者1名 (看護師・ケアマネ兼務) 正職員5名 パート職員9名 計15名	館林在住で在宅を基盤とした生活を続けたい方 契約者数 20名 (4/25現在)
ケアプラン 介護相談の 喜楽	介護保険において自宅での生活を支えるために必要な介護サービスの提供を利用者等と相談し、サービスの提供を支援調整する事業	日曜日及び 12/30～1/2休業	ケアプラン介護相談の喜楽	管理者1名 介護支援専門員1名 事務員1名 計3名	介護サービスが必要な方 要介護 54名 要支援 14名 計 68名
訪問介護の 喜楽	介護保険において自宅での生活を支えるために訪問して介護・家事援助を行う事業	日曜日及 12/30～1/2休業 R6.6休止	利用者宅を訪問	なし	自宅で介護・家事援助の必要な方
講演会の開催 (法人戦略)	「家族介護者の身の上話」をテーマに講演会とパネルディスカッションを開催	R6.12 開催	文化会館 小ホール	来場者数 63名	講師に若年認知症ぐんま家族会会長、大沢幸一氏を招いた。
会報の発行	年3回会報を発行して活動の内容を広報している。52号は多々良地区近隣にミニカレンダーと共に4000部のポスティングを行った	年3回 発行日 令和6年 7月25日 令和6年11月25日 令和7年 3月25日	6100部印刷 会員・サービス利用者等に配布 第51号(700部) 第52号(4700部) 第53号(700部)		
ホームページ	各事業所隔月でブログを更新 求人情報も適時更新している	http://otagaisamaegao.net/			
関連事業 「認知症の人 と家族の会」	公益社団法人「認知症の人と家族の会」が開催する「家族のつどい」東毛地域を担当 認知症家族の悩みや困り事を共有することによって介護負担の軽減を図る		太田 館林 桐生 伊勢崎	つどい 19回参加 世話人会 12回参加	延べ参加者 約121名
北成島町お祭	出し物フランクフルトの販売協力	8月4日	北成島町	6名参加	
「スマイル」 買い物ツアー	「スマイル」～住みよい北成島を考える会に入会、買い物ツアーを計画・開催した	毎月第4 金曜日	北成島町 松沼町	8回開催	延べ参加者 24名 協力者 2名
「共生社会を 目指して」	館林での共生社会を目指す「トモイキ」の活動会議			2回参加	主催：さわやかインスト・ パートナーネット群馬

(2) 収益事業

- ・収益事業の実施はありませんでした。

3 会議の開催に関する事項

(1) 第24回定時社員総会

- ・日時 令和6年5月10日(金曜日) 午後6時00分～7時30分
- ・会場 北成島町区民会館 群馬県館林市北成島町2881-2
- ・議題 第1号議案 令和5年度事業報告・決算報告 監査報告
第2号議案 令和6年度事業計画・活動予算
第3号議案 運転資金借入の件
その他 法人戦略5年後ビジョン
住宅型有料老人ホーム・広域デイ・ショートステイ設置について

(2) 理事会 全9回

事業計画に基づき事業の進捗状況報告や意見検討を行った。

	開催日	主な会議の内容
第1回	6年 6月21日	6年度法人・事業所目標の確認、赤い羽根共同募金分配額報告他
第2回	6年 7月19日	北成島町祭り参加協力の検討他
第3回	6年 9月20日	落雷被害報告、ウッドデッキ修理検討、地域密着デイ個別機能訓練加算算定検討他
第4回	6年10月18日	忘年会開催検討、職員異動検討、講演会検討、新規事業見直し他
第5回	6年11月15日	事業所実地指導報告、事業所敷地賃貸借契約見直し検討、新規事業建築予算検討他
第6回	7年 1月17日	情報公開内容報告、支え合い料金変更検討、虐待シェルター利用料検討他
第7回	7年 2月21日	コロナ感染報告、7年度法人目標検討、新規事業変更検討他
第8回	7年 3月21日	コロナ感染報告、広域デイ改築費用および融資検討、総会・全体職員会議検討他
第9回	7年 4月18日	有料老人ホーム見直し案検討、役員変更について検討他

(3) 責任者会議 毎月1回 全12回

行事予定や各部署での課題を担当責任者で共有し、意思統一と部署間の情報共有を行った。

(4) 支え合い活動

- ①協力会員総会報告会 コロナ禍により中止
- ②協力会員懇談会 コロナ禍により中止
- ③R6年8月よりケアプラン介護相談の喜楽へ事務所移動、10月より職員会議に合流した。

(5) よってこ松沼

- ①運営検討会 開催実績なし
- ②スタッフ会議

毎月の行事予定と今後の利用拡大のための対策を話し合った。全12回。

③広報活動

松沼町区民会館を使ったイベントは年に1回開催できたが、日頃の利用者増加には繋がらなかった。
松沼町回覧板で毎月広報を掲載している。

(6) グループホーム喜楽

- ①運営推進会議 奇数月 1 回 全 6 回
- ②家族会 年 1 回 書面にて開催
- ③職員会議 毎月 1 回 全 12 回 (ケアプラン会議は奇数月、全 6 回)
- ④避難訓練 毎月 1 回 消防署立ち合い…6 月、11 月

(7) デイサービスセンター喜楽

- ①家族のつどい 今年度もアンケートのみ実施し、結果を報告した。
- ②職員会議 毎月 1 回 全 12 回
- ③運営推進会議 グループホームと合同 全 2 回
- ④避難訓練 毎月 1 回

(8) 地域密着デイの喜楽

- ①職員会議 毎月 1 回 全 12 回
- ②運営推進会議 グループホームと合同 全 2 回
- ③避難訓練 毎月 1 回

(9) 多機能ケアの喜楽

- ①職員会議 毎月 1 回 全 12 回
- ②家族会 年 1 回アンケート実施
- ③運営推進会議 グループホームと合同 全 6 回
- ④避難訓練 毎月 1 回

(10) ケアプラン介護相談の喜楽

- ・地域個別ケア会議 なし
- ・他事業所との事例検討会 年 3 回 (トータルケアサービス、東毛光生園)
- ・職員会議 毎月 1 回 全 12 回
- ・定例会議 毎週 1 回 全利用者を全職員が理解するために情報共有した。
- ・情報交換会 毎月 1 回 全 12 回 多機能・認知症デイ・地域密着デイと合同
各事業所の利用者情報を共有し、適切なサービスに繋げた。

(11) 訪問介護の喜楽

- ①学習会 開催無し
- ②職員会議 4 月、5 月 全 2 回

(12) ボランティア慰問

本年度はボランティア慰問の再開の検討を行っていない。